

# BIBLE 316

## 聖書とは何か

**聖書とは何か** それはあなたに対する神の語りかけです。聖書は「神について」書かれているのみならず、「神からの」ものであり、神の息吹かれた書物なのです。聖書を読み、聴き、考えを巡らせ、聖書から学び、日々の暮らしで実践しましょう。使徒ペテロは、「生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、霊の乳を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです」（1ペテロ2:2）と書きました。

**聖書はなぜ唯一無二なのか** 聖書には66の書があります。それらは約1600年もの期間をかけて、40人を超える著者によって、3つの言語（ヘブライ語、アラム語、ギリシャ語）で記されており、かつ、一つの共通テーマのもとで整合が取れています。新約聖書は、断片的なものを含め5,000以上の古い手稿の存在によって真実であることが証明されています。さらに、予言的中、現代の考古学的発見、地理的な記述の正確さ、箴言の時代を超えた知恵を通して、聖書の内容の正しさが確かめられてきました。聖書は、この世界に存在する最も重要で、最も影響力のある書物です。聖書ほど数多く印刷され、広く行き渡り、多くの言語に翻訳され、多くの人々の人生を変え、何世紀にもわたり読み継がれている書物はありません。聖書は、私たちが何を信じ、どのように生きるべきかを示してくれる唯一かつ至高の、権威ある書物なのです。聖書は、他のあらゆる書物の頂点に立っています。

### 聖書の特徴

聖書は神に息吹かれたものです。「聖書はすべて神の靈感によるものです」（IIテモテ3:16）。

聖書に書かれていることは真実です。イエスは「真理によって彼らを聖別してください。あなたのみことばは真理です」（ヨハネ17:17）と祈られました。

聖書では、どんなに細かい点も正確に書かれています。イエスは「まことに、あなたがたに言います。天地が消え去るまで、律法の一点一画も決して消え去ることはありません。すべてが実現します」（マタイ5:18）と言われました。最初の手稿がそのまま正確に維持されてきたため、現在読まれている逐語訳聖書の最良のものは、99%以上正確だと言えるのです。

聖書は純粋です。「主のことばは 混じり気のないことば。土の炉で七度試され 純化された銀」（詩篇12:6）。

聖書は永遠のものです。「草はしおれ、花は散る。しかし、私たちの神のことばは永遠に立つ」（イザヤ40:8）。聖書は、最初に書かれたときも、現代においても、それぞれの時代に通用します。

聖書には力があります。ヘブル人への手紙4章12節には、「神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます」とあります。

### 聖書で得られる個人的な利点

聖書は私たちを整えてくれます。「聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。神の人がすべての良い働きにふさわしく、十分に整えられた者となるためです」（IIテモテ3:16~17）。

聖書は私たちが罪を犯さないよう助けてくれます。詩篇119篇9節と11節には、「どのようにして若い人は 自分の道を清く保つことができるでしょうか。あなたのみことばのとおり道を守ることです」「私はあなたのみことばを心に蓄えます。あなたの前に罪ある者とならないために」と書かれています。

聖書は私たちに、今必要な導き（次にとるべき行動）を与え、これからの方向（進むべき道）を示してくれます。「あなたのみことばは 私の足のともしび 私の道の光です」（詩篇119:105）。

聖書は知恵を授けてくれます。「みことばの戸が開くと 光が差し 浅はかな者に悟りを与えます」（詩篇119:130）。旧約聖書の箴言は、時代を超えた知恵の宝庫です。

聖書は困難なときに私たちを助けてくれます。詩篇119篇50節には、「これこそ悩みのときの私の慰め。まことに あなたの みことばは私を生かします」とあります。

聖書は希望を与えてくれます。「かつて書かれたもの（注：旧約聖書）はすべて、私たちを教えるために書かれました。それは、聖書が与える忍耐と励ましによって、私たちが希望を持ち続けるためです」（ローマ15:4）。

聖書は平和をもたらします。詩篇119篇165節では、「あなたのみおしえを愛する者には 豊かな平安があり つまずきがありません」と請け合っています。

聖書は喜びをもたらします。たとえば、エレミヤ書15章16節には、「あなたのみことばは、私にとって楽しみとなり、心の喜びとなりました。万軍の神、主よ、私はあなたの名で呼ばれているからです」と書かれています。

**聖書の読み方、聴き方** 二つ以上の聖句について掘り下げましょう。「聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です」（IIテモテ3:16）。この聖句が持つ4つの目的を考えてみましょう。聖書を読んだり、聴いたりするときは、どんなことを教えてくれるか、どんなことを戒めてくれるか、自分が修正しなければならないのはどのようなことか、自分が正しくあるためにこの聖句をどう活用すべきか、の4つの問いについて考えてみると良いでしょう。

**聖書を持っていない場合** できる限りの手段を使って、優れた翻訳の聖書を購入してください。購入できない場合でも、オンラインで無料で読んだり聴いたりできる場所は多くあります。一冊の聖書を、一人または複数の友人と一緒に購入してもよいでしょう。所属する教会や他の信者に、グループ活動内で聖書を読んでもらい、集中して聴くのもよいでしょう。「幸いなのは、むしろ神のことばを聞いてそれを守る（注：それに従う）人々です」（ルカ11:28）。

**聖書を教える立場の人や信徒のリーダーたちにとって特別な聖句** みことばに生きる、イエスの弟子となりましょう。「イエスは、ご自分を信じたユダヤ人たちに言われた。『あなたがたは、わたしのことばにとどまるなら、本当にわたしの弟子です』（ヨハネ8:31）。認められるために、聖書を研究しましょう。「あなたは務めにふさわしいと認められる人として、すなわち、真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神に献げるように最善を尽くしなさい」（IIテモテ2:15）。

**聖書が時を超えた重要性を持つ理由** 使徒ヨハネは、福音書を書いた目的を説明しています。その目的は、聖書全編に当てはめることができます。「イエスは弟子たちの前で、ほかにも多くのしるしを行われたが、それらはこの書には書かれていない。これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるためであり、また信じて、イエスの名によっていのちを得るためである」（ヨハネ20:30~31）。イエスを信じ、永遠のいのちを得る方法は、[www.Gospel316.org](http://www.Gospel316.org)をご覧ください。

**「草はしおれ、花は散る。しかし、私たちの神のことばは永遠に立つ」（イザヤ40:8）。**